



データコントロール活用法 - Part4 -

葛西 秋雄 | 有限会社フレンドリーソフト
KASAI, Akio | <http://www.friendlysw.com/>

Level

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

Technology Tools

- Visual Basic
- Visual C#
- Visual C++
- SQL Server
- Oracle
- Access
- ASP.NET
- Other:

Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、
<http://www.shoeisha.com/mag/windev/>からダウンロード可能です。

DataGridの列を並べ替える

今回は、データコントロールにページング機能を追加する方法を説明しました。Part4では、DataGridの列を並べ替える方法を説明します。

DataGridに列の並べ替え機能を追加すると、ヘッダーの列見出しが「ハイパーリンク」に変わります。列見出しのリンクをクリックすると、その列を並べ替えます。DataGridの並べ替え機能は、列を昇順または降順のどちらかの方向にしか並べ替えできませんが、ここでは双方向に並べ替えできるようにカスタマイズします。また、複数の列を並べ替える方法についても紹介します。

DataGridに列の並べ替え機能を組み込む

新規Webフォームを作成したら、ツールボックスから「DataGrid」を

ドラッグしてデザイナーにドロップすると、デザイナーにDataGrid1のオブジェクトが作成されます。

DataGridに並べ替え機能を追加するには、デザイナーからDataGridを右クリックして「プロパティビルダ」を選択します。「プロパティビルダ」のダイアログが表示されたら、左側から「全般」を選択して「並べ替えを有効にする」をクリックしてチェックマークを付けます(図1)。

次に、プロパティビルダの左側から「列」を選択し、「実行時に自動的に列を作成する」をクリックしてチェックをはずします。並べ替え機能を使用するときは、列の自動生成機能を無効にして「連結列」をバインドする必要があります。

プロパティビルダの「使用可能な列」から「連結列」を選択したら、[>] ボタンをクリックします。「連結列」が「選択された列」に移動したら、BoundColumn プロパテ

図1: DataGridのプロパティビルダから並べ替えを有効にする

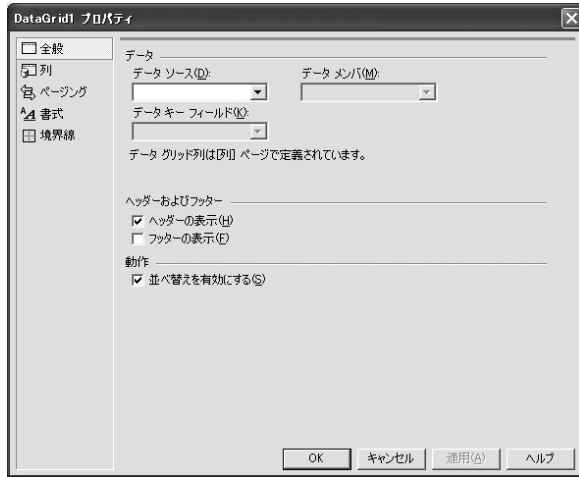


図2: DataGridのプロパティビルダから連結列を追加する



表1: DataGridに追加する連結列とプロパティ

ヘッダーテキスト	データフィールド	式の並べ替え
ID	CustomerID	CustomerID
得意先	CompanyName	CompanyKana [*]
担当	ContactName	ContactName
電話	Phone	Phone
都道府県	Ken	Ken

* 得意先は50音順に並べ替えますので得意先のカナ「CompanyKana」を指定します。

「ヘッダーテキスト」に「ID」を、「データフィールド」に「CustomerID」を入力します。「式の並べ替え」には、並べ替えを行なうフィールドを入力します。ここでは、「データフィールド」と同じ「CustomerID」を入力します (図2)。

「CustomerID」を昇順に並べ替えるには、「CustomerID ASC」のように「ASC」を追加します。「CustomerID」を降順に並べ替えるには、「CustomerID DESC」のように「DESC」を追加します。「ASC」と「DESC」を省略したときは、「ASC」がデフォルト値になります。

同様の手順で、表1を参照しながら「得意先」「担当」「電話」「都道府県」の連結列を追加します。「得意先」の連結列は、50音順に並べ替えますので「式の並べ替え」に「CompanyKana」を入力します。

プロパティビルダから [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。デザイナのDataGridのヘッダーに表示される列見出しがハイパーリンクに変わります (図3)。

図3: DataGridの列見出しがハイパーリンクになる

ID	得意先	担当	電話	都道府県
データバインド	データバインド	データバインド	データバインド	データバインド

DataGridの列見出しをクリックしたときに、列を並べ替えるにはDataGridにSortCommand イベントハンドラを追加します。

デザイナの未使用領域をダブルクリックして、コードウィンドウを表示したら、左上の「クラス」のドロップダウンリストから「DataGrid1」を選択します。右上の「メソッド名」のドロップダウンリストから「SortCommand」を選択します。DataGrid1_SortCommand イベントハンドラが生成されたら、次のコードを追加します。

```
Private Sub DataGrid1_SortCommand(ByVal source As Object, _
    ByVal e As _
        System.Web.UI.WebControls.DataGridSortCommandEventArgs) _
    Handles DataGrid1.SortCommand
    BindDataGrid(e.SortExpression)
End Sub
```

引数eのSortExpression プロパティには、並べ替えを行なうフィールドが格納されています。このプロパティには、連結列の「式の並べ替え」で指定したフィールドが格納されます。たとえば、得意先の列見出しをクリックしたときは、「CompanyKana」が格納されます。BindDataGridメソッドの引数には、並べ替えるフィールドを指定します。